

2022年6月29日

報道機関 各位

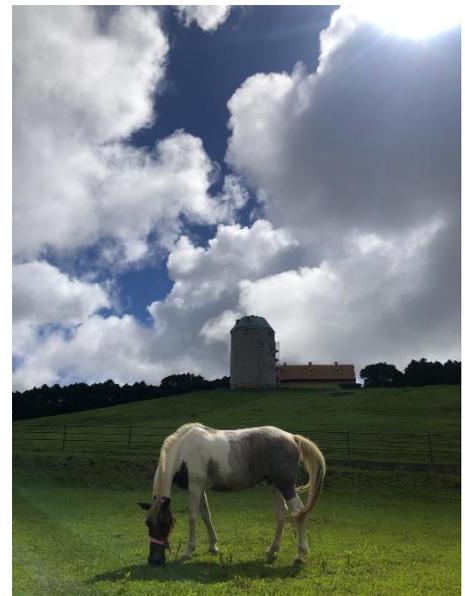
馬と生きる豊かな社会へ ～ホースセラピーの現場から～ (長崎大学多文化社会学部学生による研究報告会のご案内)

7月6日(水)に長崎大学多文化社会学部講義室にて、長崎市いこいの里あぐりの丘公園の乗馬施設「TERRACE からふる」にて実施されている「ホースセラピーに関するリサーチ基礎最終報告会」を開催します。

心や身体に不調を抱える人々は、さまざまな動物とのつながりをとおして、癒されたり心身の状態が改善される傾向が見られます。この効果を認め、介在動物を用いた治療法を「アニマルセラピー」と称します。そのうち、馬が介在する(馬に乗る、触れる、エサを与える、世話をする、馬車を扱うなども含まれる)場合を、ホースセラピーもしくはヒポセラピーと呼びます。

ヨーロッパでは、ホースセラピーはポピュラーな治療手段で、スイスやドイツでは健康保険が適用されています。日本でも、馬との触れ合いが「医療・教育・スポーツ」の3つの要素を持ち合わせていることが注目され、近年徐々に広まりをみせています。

協力先の社会福祉法人南高愛隣会は現在、長崎県内の3か所でホースセラピーを行っています。そのうちのひとつが長崎市内の、あぐりの丘公園の乗馬施設で実施されており、心や身体に障がいがある方や、子どもらを含めた市民は、飼育されている2頭の馬と親しんでいます。



写真：あぐりの丘

多文化社会学部で開講されている「リサーチ基礎」では、学生は乗馬施設での観察・調査、関係者へのインタビュー、文献検索を行い、別添5つのテーマで研究報告をまとめ、今回、報告会を開催します。この研究成果をぜひ多くの市民の方々と共有いただきたく、ご取材いただければと存じます。なお、当日、取材いただける際は、事前に下記「お問い合わせ先」までご連絡をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、取材の際には不織布マスク着用をお願いします。
また、発熱や風邪のような症状がある方は来場をご遠慮いただきますようお願いいたします。

日時：2022年7月6日(水) 17:50～19:20

場所：長崎大学多文化社会学部 31 講義室 (別添参照)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学 多文化社会学部 (総務)

Tel: 095-819-2934 E-mail: hss_soumu@ml.nagasaki-u.ac.jp

※お問い合わせの際は①報道機関等名②所属・氏名③電話番号④メールアドレスをお知らせください。

多文化社会学部リサーチ科目群「リサーチ基礎（インタビュー・参与観察）」研究報告テーマ

テーマ1 人間の態度に対する馬の反応に関する研究

テーマ2 ホースセラピーの効果

テーマ3 長崎市における乗馬施設の需要

テーマ4 モンゴル牧畜社会からみた日本の家畜飼育環境の課題

テーマ5 馬の物語をつくる

コメント：絢野ナチン（ゲスト講師、南高愛隣会ホースセラピー研究センター 室長・理学博士）

担任教員：賽漢卓娜、佐藤靖明

協力：社会福祉法人南高愛隣会ホースセラピー研究センター&TERRACE からふる



長崎大学文教キャンパス地図

会場：31 講義室（総合教育研究棟 3階）